

特集

子ども食堂へようこそ

いただきます

あなたと市政をむすぶ



広報
No.204

かんおんじ

2022 / 令和4年

10 October



当初は音楽と食を通した活動を公民館や自治会館で開催していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により公共施設が借りられなくなり、思い切って事務所を改装したと話す代表の大喜多恵子さん。保護者の「コロナ禍でも何とか続けてほしい」という要望を受けて継続してきたそうです。「子どもたちの居場所になれば」と思っていたのですが、むしろお父さんやお母さんがほっとできる場になっていきます。親同士の育児の悩みや情報交換の場として使っています。

安価で手作りの弁当を作っているため、限定50食の弁当が毎週すぐに売り切れてしまっています。「本当に必要な人困っている人に届けたい。大変なこともあります。おいしいと食べてくれる子どもたちの様子を見ると元気が出ます」と大喜多さんはほほ笑みました。

みんなの広場koko食堂

日時 毎週土曜日
午前10時～午後3時

場所 ぱびるぱぼHOUSE
(栗井町1192-2)

参加費 子ども100円

事前予約 不要

問い合わせ先 NPO法人ミュージックサポートネットワークぱびるぱぼ
☎080-4030-1150



【写真の説明】
1メンバーは学生や外国人実習生などさまざま 2～5野菜は近所の方が提供。地元食材を使い、丁寧に調理・配膳 6持ち帰り形式だが、食堂で食べることもできる 7・8子どもたちの笑い声が溢れる



子ども食堂へようこそ

詳しくはこちら



子ども食堂って？

子ども食堂とは、地域の団体などが子どもたちに無料や安価で栄養のある食事や温かな団らんを提供する取り組みです。子ども食堂の数は、全国で約6000カ所※1、県内では56カ所※2あるとされます。

市内にある4つの居場所

市内には現在4つの子ども食堂が市の委託を受けて運営しています。開催日は月1回または毎週末など各団体によって異なりますが、各団体とも「心を込めて作った食事を通じて子どもたちや地域を支援したい」という思いを持って活動しています。4カ所の子ども食堂を紹介します。

※1 NPO法人全国子ども食堂支援センターむすびえ調べ（令和3年12月調査）
（令和4年8月末現在）

※2 香川県社会福祉協議会調べ（令和4年8月末現在）

社会とつながるための居場所にしたい

子ども食堂の始まりは、十分な食事がとれない子どもに食事を提供することでしたが、現在は食事がとれないといった経済的な貧困より、社会とのつながりが持てず孤立している家族の支援へと変化しています。「食」をつなぐの場の入り口として、食堂に来てくれた方の話を聞いて少しでも心の負担を軽くし、必要な時は行政の支援へとつなげています。家庭内の問題は分

かりづらいものですが、深刻にならないよう未然に防ぎ、子どもたちが健やかに成長していくことがとても大切だと考えています。子ども食堂が、学校や塾、家庭以外のもう一つの居場所に、さらに食堂に関わってくれる地域の方たちの居場所になればうれしいです。

最後に、この活動は、NPO法人全国子ども食堂支援センターむすびえの支援によるものです。

観音寺市子ども食堂ネットワーク
大喜多 恵子 事務局長



保育士の小山未紗さんが、ご家族と協力してことし4月から子ども食堂まねきねこを始めました。

「核家族が進み、頼れる人がいなくて行き詰まるお母さんが多いように思います。月1回でも食事できる場所があれば、誰かが見守ってくれていると感じてくれるのではないかと思います」と小山さんは話します。

コロナ対策のため、現在は約50食の弁当を用意。不足した場合はフードバンクの食材を提供しています。8月20日には、地域の人と協力して初めて夏まつりイベントを開催しました。

「子ども食堂の形は自由です。ここは広い和室があり、玩具も用意しているので、遊びや読書、勉強などに使ってほしいです。子どもたちが喜ぶ企画を地域の人と一緒に考え、みんなが集える楽しい場所になればと思います」。



にしくにたの笑顔食堂は、久保修策さんとけい子さんご夫婦が、仲間と協力して2019年に始めました。県外の知人から子ども食堂の活動について教えてもらったことがきっかけです。当初は20人ほどの参加でしたが、口コミで段々と人数が増え、現在は予約制で60食用意することもあるそうです。コロナ対策のため、ここ2年は弁当の配布を行っており、近所の農家や飲食店が提供してくれる野菜や果物、食材を活用しています。

「『一食お弁当にするだけで助かる』『いつも楽しみにしている』という声を聞くとやりがいがあります」とけい子さん。

修策さんは、「何かあったときに頼れる場所の一つになればと思います。悩んでいること、困っていることを話せる、色んな人の憩いの場になれば」と話していました。

子ども食堂 まねきねこ

日時 毎月第2土曜日 正午～午後3時
(変更することあり。要問い合わせ)

場所 豊浜公会堂(豊浜町姫浜453-2)
※会場内にフードパントリー、駄菓子コーナーを設置

参加費 子ども100円、大人200円

定員 30人

事前予約 不要

問い合わせ先
080-8636-7547 (小山)



【写真の説明】
1メンバーは約10人。前列左から2番目が代表代行の小山さん 2～5夏祭りイベントではヨーヨー釣り、綿菓子、かき氷、型抜きなど縁日気分が味わえるコーナーを用意 6地元農家が新鮮な野菜や果物を提供 7まねきねこという名前には「みんなを温かく招く」という意味を込めている

にしくにたの笑顔食堂

日時 毎月1回土曜日
午前11時30分～午後2時
①午前11時30分～②午後0時30分～

場所 天理教西柞田分教会
(柞田町乙2152-3)

参加費 子ども100円、大人200円

定員 40人
※現在はお弁当配布 限定60食

事前予約 必要

問い合わせ先 ☎24-2367 (久保)



【写真の説明】
1メンバーは約8人 2・3午前8時半ごろから準備開始。この日は大鍋3つでカレーを煮込んだ 4野菜や飲み物を無償配布 5温かいうちに容器に詰める 6食堂を運営する久保さんご家族 7お弁当には「みんなが笑顔でありますように」と書いた紙を添えて

子ども食堂を応援しよう！

食品の提供

- ・賞味期限が明記され、期限に余裕があるもの（3カ月ほど余裕があるものが望ましいです）
- ・生鮮食品以外
- ・未開封のもの



- 例えば
- ・米、パスタ
 - ・缶詰（肉・魚・野菜・果物など）、乾物類
 - ・食用油、しょうゆ、みそ、砂糖などの調味料
 - ・飲料（常温保存可能なもの）

消耗品の提供

- ・ハンドソープ ・除菌スプレー
 - ・ウェットティッシュ
 - ・ペーパータオル
- ※未開封の物に限ります。



★ フードバンク ☆

頂いた食品は、子ども食堂の他、フードバンクにも活用します。フードバンクとは、家庭や企業で不要な食品等を寄付していただき、必要としている生活困窮者へ無償で提供する活動です。



ボランティア募集

- ・SNS等での情報発信やアドバイス
- ・子ども食堂の運営のお手伝い
- ・学習支援への協力

寄付（運営資金）

子ども食堂を継続して運営していけるよう、温かい支援をお願いします。

問い合わせ先

〈食品の提供・フードバンクについて〉
 観音寺市社会福祉協議会 ☎25-7752
 〈子ども食堂などの開設について〉
 子育て支援課 ☎23-3962

〈食品・消耗品の提供、ボランティア募集、寄付について〉
 観音寺市子ども食堂ネットワーク事務局
 ☎080-4030-1150

家庭や学校以外の子どもたちの居場所づくり

校外学習

ことし7月から「ぱぴぷべぼの校外教室」が始まりました。学校に行きづらい子どもたちが人や社会とのつながりを絶やさないために、スタッフと地域のサポーターが見守ります。

- 日時** 月・水曜日 午前9時～午後5時
- 場所** ぱぴぷべぼHOUSE (粟井町1192番地2)
- 対象** 市内の小学生、中学生
- 人数** 10人まで
- 内容** 学習支援、日中の居場所、相談支援、農業・園芸・芸術などの創作活動、その他自分のやりたいこと
- 持ち物** 勉強道具、水筒、弁当
- 参加費** 無料
- スタッフ** 元教員、支援員、塾講師、保育士、その他地域のボランティア

夜食堂

毎週土曜日に開催している「みんなの広場k o k o食堂」を平日夜にも開催します。保護者も参加できます。

- 日時** 毎週水曜日 午後5時～午後6時
- 場所** ぱぴぷべぼHOUSE (粟井町1192番地2)
- 参加費** 100円
- 事前予約** 不要



問い合わせ先 NPO法人ミュージックサポートネットワークぱぴぷべぼ
 ☎080-4030-1150



「学校で支援員をしていた頃、給食が命綱の子もがいて、何かしたいと思いました」と、はっぴーあい代表の大西泰子さんは振り返ります。

中央公民館の調理室で2カ月に一回、子ども向けの料理教室を開いていましたが、定期的に開催できる場所が欲しいと市社会福祉協議会に相談。現在はボランティア宅を借りて、月に一度子ども食堂を開催しています。コロナ前は、子どもたちと一緒にだしを取るところから料理をしていましたが、現在はお弁当を配布しています。

「大切にしているのは食育です。子どもには『自分で生きる力』を身に付けてほしい。親が仕事で家にいなくても、簡単な料理を作れるようになってくれたらうれしいです。新型コロナの感染状況が落ち着いたら、料理教室を再開したいです」。

はっぴーあい子ども食堂

- 日時** 毎月第4土曜日 午前10時～午後1時30分
- 場所** ボランティア宅 (詳しくは問い合わせ)
- 参加費** 子ども200円
- 定員** 20人
- 事前予約** 必要
- 問い合わせ先** ☎090-1326-1434 (大西)



【写真の説明】
 1メンバーは10人。一番左が代表の大西さん 2～5料理には地元野菜と上質な油を使用 6「おいしそう!早く食べたい」と、お弁当を前に笑顔の子どもたち 7協力者・企業からの物資も配布 8メンバーが子ども食堂のため自宅を開放